

広げよう強いきずな 築こう強い組合 ～いのちを育てる協同の力～

ながぬま

5

2025

No.375

第31回ながぬま農業協同組合通常総代会



特 集 | 第31回通常総代会開催

ながぬま農業協同組合 第31回通常総代会

『すべての議案が承認される。』



議長団挨拶（左：1区北原功治氏、右：17区山田誉氏）



三好代表監事による監査報告



退任される服部専務

提出議案

決算報告

報告事項

来賓

令和6年度貸借対照表、損益計算書、及び注記表並びに会計監査人及び監事の監査報告について

議案第1号 令和6年度事業報告、剰余金処分案の承認について
議案第2号 令和7年度事業計画の設定について
議案第3号 賦課金の賦課及び徴収方法について
議案第4号 固定資産の取得について
議案第5号 役員報酬の支給について

議案第6号 労働保険事務組合の令和6年度徴収・納付状況の報告について
議案第7号 JAバンク基本方針の変更について
議案第8号 株式会社FAMO長沼の令和6年度収支決算報告及び令和7年度事業計画について
JA北海道中央会小椋副会長理事よりご挨拶



齋藤町長よりご挨拶



JA北海道中央会小椋副会長理事よりご挨拶

総代会は、来賓に齋藤町長、JA北海道中央会小椋副会長理事をはじめ各連合会や関係機関から多数の来賓にご出席をいただき、議長団には1区北原功治氏、17区山田誉氏の両総代を選出し議事が進められ、令和6年度事業報告と令和7年度事業計画、農業振興計画、農協経営刷新中期計画の樹立、さらには任期満了に伴う役員改選などの議案について慎重に審議され、すべての議案が承認されました。

この度の、農業振興計画、農協経営刷新中期計画の樹立につきましては、第31回JA北海道大会における将来ビジョン「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」をひとを育み、ひとつともに課題整理を行い、3年間の中期的視点で歩む」を踏まえ、前計画の重点目標の検証とともに課題整理を行い、3年間の中期的視点で策定しております。

また、総代会閉会後には、任期満了に伴い、令和4年より専務理事として就任されていました服部専務理事が退任するにあたり、長年の功労に感謝と敬意を表し花束が贈呈されました。

4月4日、りふれに於いて
「第31回通常総代会」が開催される

JA共済連北海道本部岩見沢支所
支 所 長 上 田 雅 浩 様
北海道農業公社岩見沢支所
支 所 長 上 田 雅 浩 様
ホクレン岩見沢支所
管 理 課 長 高 谷 明 範 様
JA北海道中央会小椋副会長理事 小 棚 茂 敏 様
JA北海道信連岩見沢支所
次 長 高 柳 泰 斗 様
長沼町 副会長理事 小 棚 茂 敏 様
JA北海道中央会 副会長理事 小 棚 茂 敏 様
長沼町 次 長 高 柳 泰 斗 様
JA北海道中央会 次 長 高 柳 泰 斗 様

代理理事組合長就任挨拶



柴田佳夫

組合員の皆様におかれましては、本格的な播種、移植作業等に何かとお忙しいことと想います。今後も好天に恵まれ順調に農作業が進むことを願つておるところです。

この度の第31回通常総代会において役員の選任議案を可決決定いただき、同日開催の理事会において理事各位のご推挙により再び代理理事の重責を担うことになりました。改めて責任の重さを痛感し、全力で責務を果たすべく心新たにしているところです。

さて、農業を取り巻く環境は、世界人口の増加や國際情勢の変化を背景に原料や食料の調達で激しさが増す中、さらには、年々拡大する気象変動、少子高齢化による労働力の減少が農業経営にも影響を及ぼしています。

昨年、「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、食料安全保障を基本理念として位置づけ、その定義を「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ、国民一人ひとりがこれを入手できる状態」とし、食料安全保障の確保を明記するとともに、環境と調和のとれた食料システムの確立や農業の持続的な発展、農村の振興が規定されました。

J.A.グループ北海道では、このような状況から昨年開催された第31回J.A.北海道大会で『力強い農業』と「豊かな魅力ある地域社会」を将来ビジョンとして、食料安全保障の強化と農業所得の確保、農業分野における環境負荷低減への対応、人口減少局面下の人才の確保など農業・J.A.を取り巻く環境や今後の展望を踏まえ、グループ全体の意思結集による組織・事業の強化に取組むこととしています。

私自身、組合員組織の代表として農協が組合員や利用者、さらには消費者、地域住民とともに、農業により育まれた「ひと」と地域社会で生きるすべての「ひと」との強い信頼の上にこそ、その経営の基盤があることを強く意識しております。

組合員の皆様には何卒、ながぬま農業協同組合の事業に結集されることを願うとともに、力強い農業と魅力ある地域社会の実現に向かって役職員一丸となつて誠心誠意努力する所存でありますので、皆様には特段なるご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げますとともに、本年が組合員各位にとって稔り多き豊穣の出来秋を迎えますと益々のご健勝をご祈念し就任のご挨拶といたします。

専務理事 就任挨拶



石尾大介

常務理事 就任挨拶



山村範人

組合員皆様の農協に対する期待の大きさ、役割の重要さを十分に受け止め、本年策定いたしました農業振興計画のテーマに掲げる「ながぬま農業の持続と進化～未来を見据え次の世代への実現に向けて、今後役職員が一致団結して長沼農業発展のため微力ながら専心努力致す所存でございますので、今後一層のご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、昨年の通常国会において「食料・農業・農村基本法」が二十五年ぶりに改正され、食料安全保障を軸として、スマート農業等の活用による農業生産性の向上、環境と調和のとれた食料システムの確立、農村における地域社会の維持等が今後の中長期的な食料・農業・農村政策の大きな方向性となつております。また、国際情勢の緊迫など地政学的なリスクの高まりによる肥料・飼料・燃料等の生産資材価格の高まりによりやトランプ関税への対応による国内農業への影響が懸念される中、厳しさを増す農業経営を持続可能にしていくためには、法制化も含めた国産農畜産物価格の再生産に配慮された適正な価格形成の実現と経営対策の両立が必要であります。

組合員の皆様には農繁期を迎える忙しい日々のことと存じます。

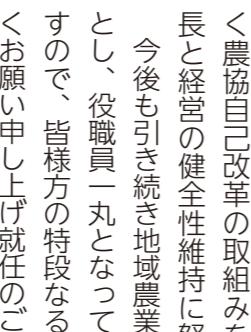
この度第31回通常総代会において学識経験理事としてご承認をいただき、同日開催されまして理事会にて常務理事（信用担当）を拝命し就任することとなりました。あらためてその責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、昨年四半世紀ぶりとなる食料・農業・農村基本法が改正され国民一人ひとりの食料安全保障が基本理念の中心に位置づけられました。



健名和哉

理事 就任挨拶



この基本理念を実現する具体策として適正な価格形成に向けた食料システムの構築が新たな概念として規定され、環境負荷の低減、スマート技術を活用した生産性の向上など、持続可能性を高める取組みが強く打ち出されています。

このようなか、農協では令和9年度を目標とする農業振興計画を策定し、「ながぬま農業の持続と進化～未来を見据え次の世代へ」をテーマに掲げ、食料の安定供給に向けた地域農業の構築や次世代を担う人材の確保・育成、環境に配慮した農業の実現、さらには持続可能な経営基盤の確立と農村の活性化を目指しております。

私自身、組合員組織の代表として農協が組合員や利用者、さらには消費者、地域住民とともに、農業により育まれた「ひと」と地域社会で生きるすべての「ひと」との強い信頼の上にこそ、その経営の基盤があることを強く意識しております。

組合員の皆様には何卒、ながぬま農業協同組合の事業に結集されることを願うとともに、力強い農業と魅力ある地域社会の実現に向かって役職員一丸となつて誠心誠意努力する所存でありますので、皆様には特段なるご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げますとともに、本年が組合員各位にとって稔り多き豊穣の出来秋を迎えますと益々のご健勝をご祈念し就任のご挨拶といたします。

ながぬま農業協同組合役員名簿

(令和7年4月7日現在)

区分	氏名	専門委員会		子会社役員	子会社経営 協議会委員
		総務・経対	営農		
代表理事組合長	柴田佳夫			代表取締役社長	委員
専務理事	石尾大介			取締役	委員
常務理事	山村範人				委員
理事	健名和哉	委員長			委員
理事	鳥井昌幸		委員長		委員
理事	大崎貴幸	副委員長			委員
理事	十河義満		副委員長		委員
理事	東山哲智		委員		委員
理事	大橋敏央	委員			委員
理事	西貴洋		委員		委員
理事	山中克人	委員			委員
理事	杉宗治		委員		委員
理事	駒谷直樹	委員			委員
	(13名)				
代表監事	三好忠和			代表監査役	委員
常勤監事	岩崎徹			監査役	委員
監事	上野浩幸			監査役	委員
員外監事	山科隆男				委員
	(4名)				

組合員皆様の信頼と期待に応え、全力を尽くしたいと思います。微力ではございますが宣しくお願いいたします。



山科 隆男



上野 浩幸



服部 正幸

この度、4月4日に開催されました第31回通常総代会をもちまして役員の任期満了により専務理事を退任いたしました。

顧みますと平成28年4月にながぬま農業協同組合理事に選任され、令和4年4月より専務理事として通算9年の永きに亘り役員として勤務させていただきました。この間、農業を取り巻く環境が大きく変わる中、組合員が意欲を持って営農が継続できるよう微力ながら組合運営に努めてまいりました。お陰様でその職責を今日終えることができましたのも、組合員をはじめ役員皆様方や関係機関の方々からの温かいご指導とご厚情の賜物によるものと心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

近年、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、水田活用直接支払交付金の見直しや肥料・農薬をはじめとした資材価格の高騰など様々な課題が山積しておりますが、組合員の営農と生活を守るため、役職員が一丸となり課題解決に向け、なお一層の努力を期待いたすところであります。

末筆になりましたが、ながぬま農業の発展とながぬま農業協同組合の益々のご隆盛をご祈念申し上げるとともに、組合員や役職員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



JAながぬま女性部
フレッシュユミズ部会長 柳原真由美さん
**「JA北海道女性協議会
フレッシュユミズ会長に選任」**

柳原さんは3月6日に空知のフレミズ代表として選ばれ、同18日、JA北海道女性協議会においてフレミズ全道会長に選任されました。4月14日JAながぬま常勤役員に選任されたことをご報告されました。「初めてのことと緊張していますが、全道の地区代表の皆さんと共に1年間フレッシュユミズを盛り上げて仲間を増やしていくたいと思います」と述べられました。柴田組合長から就任のお祝いに「頑張ってください」と激励のお言葉と花束が贈呈されました。



ながぬまクリーンライス生産協議会
水稻直播講習会開催

3月19日にながぬま農協本所2階大会議室にて生産者21名が参加の下、水稻直播講習会が開催されました。普及センターの早勢専門普及指導員、JAながぬまの村井當農コンサルタントを講師に迎え、直播栽培による栽培手法や雑草対策について説明をいただき、大変有意義な研修会となりました。



ブロッコリー部会栽培講習会
ブロッコリー部会栽培講習会

3月24日、ブロッコリー部会は栽培講習会を開催し、生産者50名が参加しました。講習会では、阿部當農コンサルタントからブロッコリー栽培の懸案事項について、坂内専門普及指導員からは令和6年産ブロッコリー生産を振り返った対策についてご説明いたしました。



ながぬま農協年金友の会
第33回通常総会

3月24日、りふれ三世代交流室にて第33回通常総会が行われました。総会終了後は栗山警察署生活安全課小宮様による特殊詐欺被害防止の為の講演やビンゴ大会を開催し、おおいに盛り上りました。



3月19日、JAながぬま第1会議室にて(社)岩見沢地方法人会 長沼農業地区会の第60回事業報告会が行われました。設立60周年となる本年は功労者への表彰を行い第10代会長木村輝喜氏と第11代会長(故)小林邦弘氏が受賞されました。事業報告会では令和6年度事業報告並びに収支決算報告、令和7年度事業計画案並びに収支予算案、役員改選について協議され全議案が承認されました。



小林泰斗氏



木村輝喜氏

(社)岩見沢地方法人会 長沼農業地区会
第60回事業報告会

小麦起生期現地研修会

4月10日、小麦起生期現地研修会が町内4ヶ所で開催され、47名の生産者が参加されました。

普及センターの古館地域係長、菅原専門主任および当農協の村井當農コンサルタントより、茎数の確認に基づく起生期追肥の目安や起生期以降の生育状況に応じた追肥、今後の防除体系などについて説明がありました。生産者からも多く意見・質問が出されました有意義な研修会となりました。



令和7年度 第1回農業用廃プラスチックの回収について

農業用廃プラスチックの処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、産業廃棄物に指定されており、その処理は農業者自らの責任において適正に処理することが義務付けられています。

1. 受入日程 令和7年6月24日(火)～26日(木)

	ビニール類	プラスチック類
	24日(火)	25日(水)
午前	1区～16区	1区～8区
午後	17区～31区・市街	9区～16区
		26日(木)
		17区～24区
		25区～31区・市街

2. 受入場所・時間 麦バラ調整施設構内 (トラック1台毎に回収前と回収後に計2回計量)

- ビニール類／8:30～12:00、13:00～16:00
- プラスチック類／8:30～12:00、13:00～16:00

3. 回収物

農業用廃 ビニール類	農ビ(農POを除く) (処分先が異なるのでハウスバンド等でまとめて分別して車両に積載して下さい。 農ポリ・肥料袋・ラップ・マルチ・灌水チューブ(フレコンに同梹可) ※上記以外の物は受入できませんので充分注意願います)
農業用廃 プラスチック類	フレコン・農薬容器(必ずキャップを外して水洗いをして乾燥させた状態) ・ネット類・糸入りホース ブルーシート・点滴チューブ・その他農業用廃プラスチック類
回収できない物	ゴム製品・ビン・金属類・ダンボール・木屑・一般家庭ゴミ 発泡スチロール・FRP(繊維強化プラスチック)・※苗箱

4. 処理代金

農業用廃 ビニール類	28円/kg (消費税別)
農業用廃 プラスチック類	40円/kg (消費税別)

※取引口座(クミカン又は普通貯金)で支払いいただきます。

5. 助成金

- 長沼町より5円/kg以内の助成金が支給されます。(JAも長沼町と同額を助成。)
- 助成金の支払いは、2回目の回収が終了し、年間処理量が確定した後(12月頃)となります

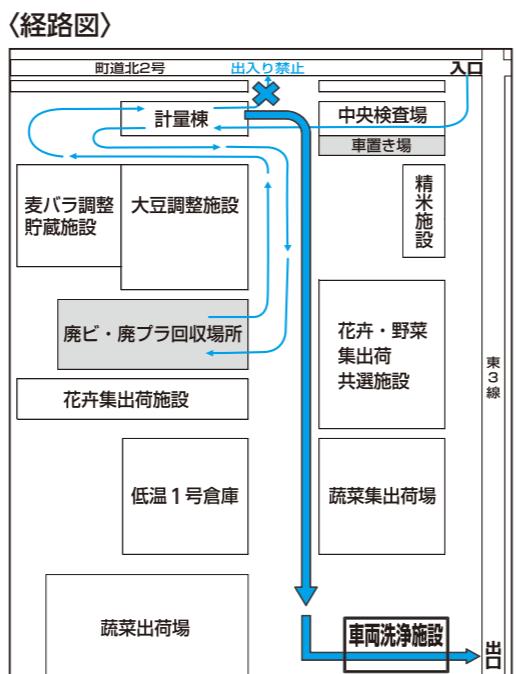
6. その他

- 経路におきましては、経路図をご確認のうえご走行をお願いいたします。

※運搬中は、路上への落下防止にご協力をお願い致します。

また、回収時の注意事項においては、郵送書類を必ずご確認ください。

お問い合わせ先：ながぬま農協 岩農部 岩農企画課 TEL 88-2226



アスピラ共選作業スタート

アスピラの共選作業が4月10日より始まりました。

昨年に蓄えた栄養分がうまく転用され多収量となつておらず、販売環境もスタートから良い状況が続いている。選別量は1日約150kgを選別し、道内をはじめ全国の消費地へ出荷されています。



青年部 勉強会

4月17日、JAながぬま本所

にて「JAながぬま青年部勉強会」を開き、部員22名が参加しました。

空知農業改良普及センターの坂内専門普及指導員を講師に迎え、「今後の長沼町の営農について」をテーマにを行いました。参加者は講師の話に熱心に耳を傾け、質疑応答では活発な意見交換が行われました。青年部木村将人部長は、「水田活用交付金の見直しが進み所得減少が現実味を帯びている中、今回の勉強会で交付金が減額された場合にどの様な作付で収益の確保を考えていけば良いかを経営形態別で示していただきたい」と話していました。



5月の

「秋小麦栽培」のポイント



今年の「きたほなみ」生育期節と平年値()

起生期3/30 (3/30)	幼形期 (4/27)	止葉期 (5/21)	出穂期 (5/29)
----------------	------------	------------	------------

今年の幼穂形成期は、ほぼ平年並と思われます。3ヶ月予報の気温は、平年並～高く推移すると予報されています。生育期節に応じた農作業にあたりましょう。

1. 止葉期と出穂期以降の窒素追肥など

●止葉期追肥 (5月中旬) 「きたほなみ」 4kg/10a 「ゆめちから」 4～6kg/10a

●出穂期追肥 (5月下旬) 生育 (葉色) 状況に応じて実施

実施方法 低タンパクが心配 尿素 1% 液 (水100 ℥に尿素1kg) 散布 2～4回

注 「きたほなみ」止葉直下葉の葉色値 (SPAD) 50以上では追肥を行わない。

注 「ゆめちから」止葉直下葉の葉色値 (SPAD) 45未満は止葉期増肥や開花期に葉面散布を行う。

2. 雑草対策 (除草剤の使用)

雑草が大きくならぬうちに (草丈20cm以下) に散布する。気温20°C程度あれば、除草効果が高まる。

※MCPソーダ塩 300g/10a 収穫45日前 (6月5日頃まで)

※バサグラン液剤 100～150ml/10a 雜草の3～6葉期 収穫45日前

3. 倒伏防止 (主な植物成長調整剤)

起生期茎数1,500本/m²以上 (地面が殆ど見えない) の麦は、植物成長調整剤を散布しましょう。

※下記の薬量は10aあたり散布水量100 ℥

①エスレル10 止葉期～出穂始期 200～333ml/10a

②サイコセルPRO 出穂前10日～20日 200～300ml/10a

サイコセルPROを幼穂形成期処理済の場合は、サイコセルPROは 200ml/10aで処理する。

4. 病害虫防除

(1)赤さび病

気温が高く雨の少ない条件で多発する (令和5年は「ゆめちから」も発生)。特に、発生は場は、5月中旬頃から防除実施する。「きたほなみ」は防除必須、抵抗性がある「ゆめちから」も最近発生が多くなる傾向、発生は場は防除する。

主な赤さび防除剤と使用方法

使 用 農 薬	散 布 時 期	使 用 回 数
ミリオネアプロアブル (4,000倍)	5月中旬(止葉抽出始)～5月下旬(止葉期)	2

(2)赤かび病

低温年に発生が多くなり、出穂期、開花期以降に降雨や曇雨天傾向で発病助長する。開花時に最も感染しやすい。

1回目防除は開花始めに必ず防除し、その後7日間隔で2回防除を実施する。

多雨で乳熟 (登熟) 期中に雑菌が多発する条件では4回目の臨機防除を実施する。

※防除体系例 (栽培基準掲載)

1回目 開花始期 プロラインフロアブル (2,000倍)

2回目 1回目散布後7日後 ベフトップシンフロアブル (800倍)

3回目 2回目散布後7日後 ミラビスフロアブル (1,500倍)

※ミラビスフロアブルは小麦の黒変症状を抑制する効果も高い。

4回目 (降雨が多い年 (臨機散布)) シルバキュアフロアブル (2,000倍)

(3)ムギクロハモグリバエ、アブラムシ対策

ムギクロハモグリバエ、アブラムシ等の害虫が見られる場合は、赤かび病防除時エルサン乳剤 (1,000倍) 又はゲットアウトWDG (3,000倍) 等を混用する。

5月の

「水稻栽培」のポイント



○育苗～移植

1. 早期異常出穂(不時出穂)の防止

近年の5月中下旬の最高気温は、平年より高い傾向で推移しています。

2.5葉期以降のハウス内気温が高温(25°C以上)を避けるハウス換気がポイントとなります。

特に、成苗ポット苗は温度が上昇して老化しやすいため、注意して下さい。



2. 育苗追肥の目安

老化苗は移植時のダメージで初期分けつが、消失する可能性が高くなります。移植前追肥を行いましょう。

育苗型式別の追肥の目安

型式 時期	1～1.5葉期	2～2.5葉期	移植3～5日前	3～3.5葉期
中苗(箱マット)	N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	(N-1.0g/箱)
成苗(ポット)	無	無	N-0.5g/箱	(N-1.0g/箱)

*3葉期以降の追肥は、必要に応じて(老化苗対策)

○1箱当たりN-1.0g程度施用の場合

施肥例-1 NP57号 (N15-P7) 6～7g/箱 (枠)

施肥例-2 苗床追肥用尿素複合液肥 (N18-P6) 5ml/箱 (枠) (水 1 ℥ 200倍液)

3. 移植の目安

5月中旬以降、移植適温に達したら適期に移植しましょう。側条施肥(移植同時)の窒素量は3～4kg/10aを施用し、特に疎植栽培は側条施肥窒素量4kg/10a以上が必須です。

育苗様式	移植早限		移植晚限
	気温	月日	
成苗ポット	11.5°C	5月14日	6月5日
中苗マット	12.0°C	5月15日	5月31日

*移植後5日間の平均気温の目標値

*長沼町アメダス平年値より算出

4. 雑草対策

○移植栽培

初期除草剤、初期一発除草剤、初中期一発除草剤処理時期のタイミングは、代かき後日数及びノビ工葉令の判断が重要です。

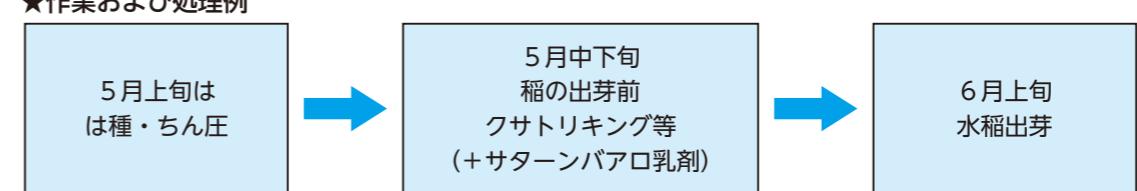
近年、5月下旬～6月上旬の気温は、比較的温暖で経過しています。雑草発生も早まっています。特に藻類等の発生より、除草剤の拡散しづらい場面が多く見受けられます。

除草剤の効果的使用へは、移植後7日以内の処理を目指しましょう。また、止め水は7日以上保ちましょう。

○乾田直播栽培

特に、復元田では水稻出芽前の除草剤処理は必須です。

★作業および処理例



*詳細は、令和7年度栽培基準 19ページを参照

5. 雑草対策(除草剤の使用)

(1)は種直後(土壤処理)と出芽直前～出芽揃い(生育処理)

イネ科+広葉雑草除草に効果ある土壤処理剤として以下の単剤、混合剤等がある。

主なは種後出芽前(雑草発生前)処理の除草剤(2成分以上)処理の例

除草剤名	10a 使用量	10a成分投下量(mL·g)							登録10a 使用薬量 (mL·g)
		ピロキサ スルホン	ラッソ	ロロックス	フィールド スターP	ゴーゴー サン	デュアル ゴールト	フルミオ	
トップメリット フロアブル	300mL	10.2		72					250~350
ラッソ-乳剤 +ロロックス水和剤	300mL 150g		129	75					300~600 100~200
ラクサー乳剤	600mL		180	72					400~800
プロールプラス乳剤	500mL			57	33.5	32.5			400~600
デュアルゴールド +フルミオWDG	100mL 5~7g						83.7	2.5 ~5.0	70~130 5~10

※トップメリットフロアブル使用における要注意事項

翌年、水稻直播栽培予定は場の場合は、稻の生育抑制があるので使用しない。

※プロールプラス乳剤使用における要注意事項

散布直後の多量の降雨は、薬害の恐れがある。後作物としてかぼちゃ等のうり科やほうれんそう、そばを作付けすると生育抑制することがあるので避ける。

※フルミオWDG使用における要注意事項

大豆出芽後に使用すると薬害が出る。散布直後の多量の降雨は、薬害の恐れがある。

(2)出芽直前～本葉1葉(雑草発生揃)処理

パワーガイザー液剤(200~300mL/10a)

※パワーガイザー液剤は雑草発生揃い処理が望ましい。

(3)1年生イネ科雑草(大豆2～6葉期)処理

※1年生イネ科雑草対応除草剤

除草剤名	有効成分 %	使用方法・使用時期	収穫前	10a当たり 使用量	使用 回数		
ナブ乳剤	セトキシジム	20	1年生イネ科雑草3～5葉期 1年生イネ科雑草6～8葉期 1年生イネ科雑草9～10葉期 (スズメノカタビラには効果が劣る)	30日	150～200mL 200mL 250～300mL	1	
ポルトフロアブル	キザロホップエチル	7	イネ科雑草3～10葉期 (スズメノカタビラには効果が劣る)	30日	200～300mL	1	
セレクト乳剤	クレトジム	24	イネ科雑草3～5葉期 (スズメノカタビラを除く) イネ科雑草5～8葉期 (スズメノカタビラを除く) スズメノカタビラ3～5葉期	50日	35～50mL 50～75mL 50～75mL	1	

(4)広葉雑草(大豆茎葉処理)

大豆バサグラン液剤 使用量 100～150mL/10a

使用時期 大豆2葉期～開花前(雑草の生育初期～6葉期まで) 収穫45日前まで

※大豆バサグラン使用の注意事項(令和7年度栽培基準P30を参照)

使用時期、気象条件によっては薬害が発生し、減収する可能性がある。

5～6月の

「大豆栽培」のポイント



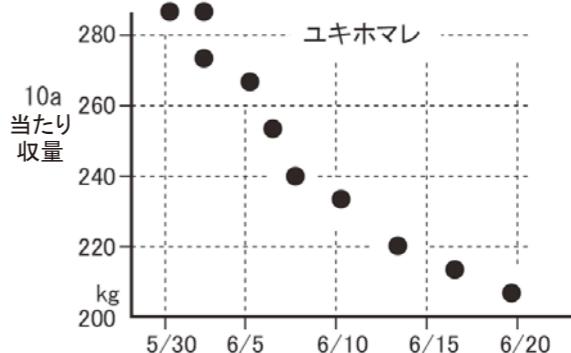
1. 適期は種

は種時期が遅くなると、着莢数の減少、豆の小粒化となり品質・収量が落ちます(右図)。

ただし、5月19日以前のは種は、夏期の高温多雨により腐敗粒多発になり易いので避けましょう。

水稻移植がある場合は水稻移植を優先しましょう。

また、発芽揃い及び土壤処理剤効果向上へ、土壤土塊は2cm以下の碎土を目指しましょう。



※は種時期の目安

「ユキホマレ・とよまどか」は、腐敗粒発生抑制へ5月20日～6月5日まで

「トヨムスメ・ユキシズカ」等 5月20日～5月末

※平均気温が10℃以上となる時期(平年は5月10日頃)

※大豆間作小麦栽培予定の場合は、5月30日までには種を完了する。

2. 病害虫防除とは種後の低温時の出芽向上対策

は種後低温が続いた場合は、土壤中のピシウム菌により出芽障害を起こした事例が長沼町で過去に何度か見られているので、必ずは種前に以下の種子粉衣して下さい。

●処理手順(例) クルーザーMAXX使用

(アブラムシ、タネバエ、茎疫病・苗立枯病・根腐病などに効果)

(は種前日か当日)

(1) クルーザーMAXXを塗布(種子1kgに8mL)

(2) 種子乾燥後根粒菌を接種(ノーキュライド種子は不要)

3. 基肥窒素の留意点

(1) 基肥チッソ量は、10a当たり1.5～2.0kgを目標とする。

(2) 前作が野菜(タマネギ・長ネギ・はくさい・ブロッコリー・スイートコーン)及び甜菜の場合は、基肥は無肥料とする。→倒伏防止

4. 適正は種量

過度の密植栽培は、混みすぎて着莢数が減ったり倒伏につながる。

10a当たりは種粒数は概ね20,000～21,000粒

主な品種の10aは種量の目安

トヨムスメ 8～8.5kg ユキホマレ・とよまどか 7～7.5kg ユキシズカ 3kg

特に地力がある圃場(前作が野菜・甜菜)及び防風林の側の圃場は、19,000～20,000を目標とする。

(トヨムスメ7.5kg、ユキホマレ6.9kg、ユキシズカ2.8kg)

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出しており、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

過去の参議院選挙(比例代表)

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

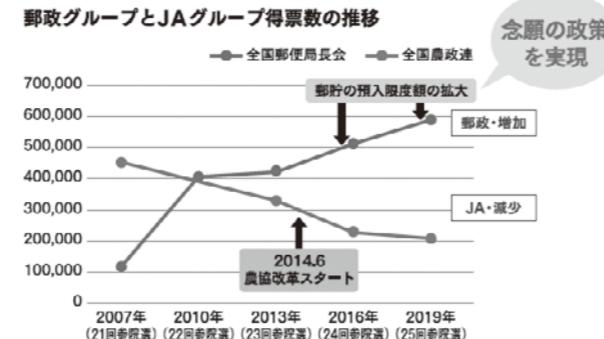
問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。



自民党 全国比例区 得票数順位 (2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	柘植芳文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

JAグループ 家の光協会

お申し込みはお近くのJAへ

TEL 03-3266-9039

<https://www.ienohikari.net/>

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」を柱に
「人生100年時代」の元気づくりを応援していきます!

2025年 8月号までの定価(税込)
9月号からの
新定価(税込)
※毎号統一価格

誌名	普通月号	629円	9月号からの 新定価(税込)	900円
JAの光	特別月号(1・4・5・7・9月号)	922円		
JAの光	12月特別号	1,027円		

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関・都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会・関係機関・取引先・JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためにには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき北海道後援会

Vegetable+GIN
vegin
tomato
HOKKAIDO NAGANUMA

NAGANUMA
VEGETABLE
PROJECT

北海道長沼町から、
野菜の未来を変える。

北海道でも有数の野菜の産地、長沼町。
生産者と「JAながぬま」から発信する
野菜の未来を変えるプロジェクトです。
「野菜に合う野菜」をテーマに、
素材の美味しさを再発見していきます。

お酒は二十歳になってから

veginが誕生するまでの
ストーリーはこちらから

「農業者賠償責任共済」では、農地面積の大きさと支払限度額(施設・生産物賠償)によって共済掛金を設定します。

農地面積	支払限度額		
	3,000万円コース	5,000万円コース	1億円コース
0.5ha未満	5,760円	6,500円	8,050円
0.5ha以上 1ha未満	6,950円	7,850円	9,720円
1ha以上 2ha未満	8,390円	9,470円	11,730円
2ha以上 4ha未満	10,120円	11,430円	14,150円
4ha以上 20ha未満	18,610円	21,010円	26,010円
20ha以上 50ha未満	48,280円	54,520円	67,490円
50ha以上 100ha未満	75,210円	84,920円	105,130円
100ha以上 200ha未満	92,830円	104,810円	129,770円
200ha以上 300ha未満	105,820円	119,470円	147,910円
300ha以上 400ha未満	114,360円	129,120円	159,860円
400ha以上 500ha未満	120,760円	136,340円	168,810円
500ha以上(以降100haあたり)	+3,690円	+4,170円	+5,160円

(2023年4月現在)

加入例
所有または管理している農地面積が3haの農業者の場合

3,000万円コース

年間10,120円

(2023年4月時点)

ポイント1
1日あたり
約30円で保障

ポイント2

共済掛金は必要経費として計上可能(法人は損金算入可能)

損害賠償事例 (施設賠償リスク)

【事例①】

草刈機を使って草刈中、小石をはねて他人の車をキズつけた。

損害賠償額例

約115万円



【事例②】

畑で農薬を散布していたところ、操作を誤り、隣接する農家の畑に農薬が飛散し、生育不良となった。

損害賠償額例

約510万円



【事例③】

肥育している牛が敷地外へ脱走し、走行中の他人の車両と接触し、損害を与えた。

損害賠償額例

約70万円



※1 お支払いには所定の条件があります。※2 損害賠償額例はJAグループ調べ

農業を取り巻くリスクは身边に存在しており、安心して農業を営んでいただくためにも、農業者賠償責任共済(ファーマスト)で備えておきましょう。

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

お問い合わせは
JAながぬま 金融部 共済課

JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

JA共済の資料請求サイト
JAの
はじめて共済

はじめて共済 検索
<https://shiryo.ja-kyosai.or.jp>
本サイトから「ひと・いえ・くるま」各共済の資料請求・掛金試算ができます。



23481250345

保障内容をわかりやすく動画で紹介しています。

詳しくはこちる▶



農業者賠償責任共済



農業者賠償責任共済

農業にともなう
賠償リスクへの保障を
お考えの方に



農業を取り巻く賠償リスクを「安心・シンプル・簡単」に解決します!

安心

幅広い賠償責任をカバー

多くの農業者共通の4つのリスクに
対して一つの共済で総合保障。施設賠償
リスク保管物賠償
リスク

シンプル

わかりやすい共済掛金設定

基準となるのは農地面積と
ご希望の支払限度額のみ。

3つのプランをご用意

3,000
万円
コース5,000
万円
コース1億円
コース

簡単

自動継続で手間いらず

1年で自動継続するため、
面倒な継続手続き等は不要*。

*農地面積に変更がある場合等を除く



施設賠償

- 農地や農業施設の不備による賠償責任を保障。
- 農作業上の過失による賠償責任を保障。



生産物賠償

- 生産物によって生じた賠償責任を保障。



保管物賠償

- 他人から預かった物に対する賠償責任を保障。



生産物回収費用

- 生産物賠償等にともないかかった回収費用を保障。

農業者の皆さん！

NOUNEN

農業者年金オンラインセミナー

((●)) アーカイブ動画配信中

～農業者の特権「農業者年金」の制度と活用方法～

～ほったらかし・低リスク投資で資産形成～

NOUNEN 【講演】
令和6年度農業者年金オンラインセミナー



独立行政法人
農業者年金基金

株式会社 GSTELLA ENTERPRISE
代表取締役 堀口 浩

令和6年12月11日に開催した、令和6年度農業者年金オンラインセミナーのアーカイブ動画を配信しております。

当日ご覧になれなかった方はもちろん、再度視聴したい方などもぜひご覧ください。

また、農業者年金ホームページには、質疑応答も掲載しておりますので、併せてご確認ください。

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>



右の二次元コードからアーカイブ動画へ直接アクセスできます！
<https://youtu.be/kc8RjmhCbO0>



iDeCoや国民年金基金との違いを詳しく知りたい方はこちらもチェック

<https://youtu.be/YZmJHu9vVUA>



お問い合わせ

独立行政法人農業者年金基金 企画調整室

03-5919-0332

info@nounen.go.jp



詳しくは・・・

農業者年金

NOUNEN

知って得する！

第2回 農業者年金オンラインセミナー

テーマ 農業者年金とiDeCoの違い 徹底解説

農業者年金は
農業者だけの特権！

本セミナーでは、農業者年金の特徴やiDeCoの特徴などについて解説します。セミナー中は、リアルタイムで質問も受け付けます。農業者年金とiDeCoの違いを知りたい農業者の方や投資・運用などに興味がある農業者の方は、この機会に是非ご参加ください！

参加費
無料



事前
登録制



特に
こんな
農業者に
オススメ!!

01

農業者年金って
聞いたことが
あるけど、内容が
よくわからない方

02

インフレに備え資産運用を始めたと思って
いる方、投資に不安を
持っている方

03

農業者年金と
iDeCoで加入を
迷っている方

講師

【堀口 浩 氏】

株式会社ジーステラエンタープライズ 代表取締役
32年間で在籍した（一社）岐阜県農業会議で、農地制度、経営対策及び農業者年金等の各種事業、農業法人協会等農業経営者組織の運営を担当。退職後、2024年5月開業。
これまでの知識を活かし、現在は農業経営に関するアドバイスや各種講演を行うなど幅広く活躍中。



【榎原 喜久 氏】

株式会社アセット樹 代表取締役
22年間農業団体職員として農地相談や新規就農相談などの業務に従事。2001年には農業者年金制度改革のプロジェクトチームに参画、新制度の農業者年金の制度設計に携わる。
退職後、2017年開業。
農業者向けリタイアメントプランの相談・提案などを行う。2017年4月～2020年3月まで（一社）埼玉県農業会議の農業者年金相談員としても活動。



◆お申込み方法：

右の2次元コードを読み取っていただきか、下記URLより予約フォームに遷移していただき、必要事項を記入の上、お申込みください。
URL：<https://forms.gle/HxKJPCYAXBQ6gPKi6>
※受講用のURLはご登録いただいたメールアドレスに開催日までに送付します。



◆お申込み締切日：5/28

お問い合わせ

独立行政法人
農業者年金基金
企画調整室 03-5919-0332

農業者年金に関する詳細は
HPをご覧ください。
<https://www.nounen.go.jp/>



— 令和7年度 トラクター作業等基本協定料金表 —

この料金は、30アール1筆の場合は場での作業を基本としています。

特殊な土壤や作業程度などの条件がある場合は、双方で協議をし、決定して下さい。

(消費税別)

作業分区	作業機	単位	料 金	作業機のみ	備考欄
土壤改良	サブソイラー	10a	2,800	700	3本爪
	レーザーレベラー	1時間	18,400	-	5m
	モミサブロー	1m	26	15	溝幅4cm、溝深30-45cm
耕起・整地	プラウ耕	10a	3,600	1,200	18インチ*4連リバーシブル
	ロータリー耕	10a	4,500	1,700	2.0m
	アップバー・ロータリー	10a	4,700	2,000	2.0m
	パワーハロー	10a	4,400	1,800	2.5m
	スタブルカルチ	10a	3,600	1,200	10本爪3.1m
	ドライブハロー(代掻き)	10a	4,400	-	3.4m
散布	融雪材散布機	10a	1,900	1,300	500L
	マニュアスプレッダー	10a	5,300	1,800	15.4m ³
	ブロードキャスター	10a	1,100	600	800L
	施肥カルチ	10a	1,600	600	5畳
中耕・除草	ロータリーカルチ	10a	2,500	1,200	3畳
播種・移植	田植機	10a	7,500	5,400	8条 ポット仕様
	グレンドリル・真空播種機	10a	4,400	2,200	
	プランター	10a	2,600	1,500	4畳
	玉葱移植機	10a	6,100	-	4畳
防除	ブームスプレナー	10a	1,900	-	1100L
	無人ヘリ・ドローン	10a	1,500~	-	作業内容により料金変動(要相談)
収穫・刈取	コンバイン	稻	12,200	-	稻:自脱、麦・豆:汎用、子実:大型コンバイン想定
		小麦	7,300	-	補助作業員・移動トレーラーは別料金
		豆類	7,300	-	雑草繁茂、低刈、倒伏圃場については別途1,600円~2,000円程度加算
		子実コーン	9,800	-	※その他、作業・圃場状況で別途協議
	ビートハーベスター	10a	7,400	4,000	1畳 7.8m ³
	オニオンハーベスター	10a	15,600	-	4条掘り
	モアー	10a	3,600	1,200	3.0m
	テッター	10a	1,800	-	6.45m
	レーキ	10a	1,000	500	3.4m
梱包	ロールベーラー	梱包	1,700	-	径80~160×118
その他	ケンブリッヂローラー	10a	1,000	400	鎮圧作業 6.3M
	畔塗機	1時間	6,200	3,100	ドラム径85cm
	ストローチョッパー	10a	1,700	700	2.9m
	穀物乾燥	1俵	1,000~1,600	-	麦・大豆・子実コーン
	トレーラー運搬料	1回	4,500	-	片道運搬料の価格
	穀物運搬料	1kg	2~3	-	新設

特別金利キャンペーン実施中

住宅ローン

住宅の新築・中古住宅の購入や修理費用等

期間 令和7年8月29日(金)まで

金利

3年固定 0.5% 

5年固定 1.2% → 0.9%

10年固定 1.4% → 1.1%



リフォームローン

住宅の増改築・改修補修や付帯施設用資金等

期間 令和7年8月29日(金)まで

金利

変動金利  2.0% → 1.7% 固定金利  2.6% → 2.3%

※当JAの住宅ローンをご利用された方は当初3年間基準金利より0.5%引下げ

マイカーローン

自動車(新車・中古車)の購入や車検・修理費用等

期間 令和7年8月29日(金)まで

金利 駆動2.55% → 2.0% 

固定金利(5年以内) 2.85% → 2.3% 

固定金利(10年以内) 3.25% → 2.7% 



組合員加入+右記①~④いずれか1つの該当で0.5%引下げ
更に、過去マイカーローンをご利用いただいた方は0.05%引下げ

①給与・年金振込 ②JAカードローン
③JAカード(一体型) ④公共料金自動引落

【共通事項】

※当JAが指定する保証機関の保証が必要となり別途保証機関への保証料がかかります。
※上記キャンペーン金利は金利情勢の変化により変更させていただく場合があります。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので了承ください。

理事会報告 -第4・5回-

《令和7年4月4日開催》

[議案]

第1号 代表理事、常勤理事の選任について

[報告事項]

1. 会議行事予定について
2. その他

《令和7年4月7日開催》

[議案]

第1号 専門委員会構成について

第2号 役員の席順決定について

第3号 令和7年度各理事の報酬額の決定と支給方法、支給時期について

第4号 退任理事に対する役員退職慰労金の支給金額、支給方法、支給時期について

第5号 子会社役員（監査役含む）・経営協議会委員の選任について

第6号 各協議会などの農協役員の選任について

第7号 令和7年度農産物予約金（契約金）の設定について

第8号 道常例検査指摘事項に係る改善・対応状況等の報告について

第9号 職員採用計画について

[報告事項]

1. 会議行事報告事項について
2. その他

以上、すべての議案について審議し原案どおり承認されました。

農協の動き 3/19～4/7

3月

19日	法人会事業報告会	於 農 協
19日	水稻直播講習会	於 農 協
20～22日	役員視察研修	於 兵庫県・京都府
24日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
24日	年金友の会第33回通常総会	於 長沼町総合福祉センター
27日	子会社経営協議会	於 農 協
27日	総代会事前説明会	於 農 協
28日	営農集団総会	於 農 協
31日	退職辞令交付	於 農 協
31日	FAMO長沼退職辞令交付	於 農 協

4月

1日	新規採用辞令交付	於 農 協
4日	第31回通常総代会	於 長沼町総合福祉センター
4日	理事会	於 農 協
4日	第2回監事会	於 農 協
7日	理事会	於 農 協
7日	第3回監事会	於 農 協

「売れる」ヒントをお届け!



購読料
1ヶ月
(税込み)
本紙 2,980円
電子版 2,403円

● 購読のお申し込みは JAへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrinews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動

2025年5月号 No.375

JAながぬま 広報誌

〒069-1393

夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号

発行／ながぬま農業協同組合営農部営農企画課

TEL 0123-88-2226 FAX 0123-88-4113

URL <http://www.ja-naganuma.or.jp>

今月の組合員数

調査確認日：令和7年4月17日現在

組合員	1,494名(-6)
正組合員	777名(-1)
准組合員	717名(-5)
正組合員戸数	590戸(-1)

※括弧内は前月比

ながぬま